

## - IPM 実践道場 コーディネーターとなる JGAP 指導員を募集！ -

このたび、日本 GAP 協会の会員部会<農薬・肥料・資材部会>の活動として、IPM 実践道場を行うこととなりました。

IPM 実践道場とは、農場の JGAP 取組・指導の一環として、既存の農場の防除計画を IPM の視点から設計し直し、実践し、その効果を測り、これら一連の取り組み実例を会員・JGAP 認証農場・JGAP 指導員などを中心に社会全体で共有しようという試みです。

農薬メーカー・資材メーカーの枠を超えて、すべての指導者が**農場側の視点に立ち**、最適な IPM 視点の防除計画を議論しようというものです。日本の IPM の取り組みを前進させる新しい試みとして実施致します。

**この IPM 実践道場の農場と IPM 関連企業をつなぐコーディネーターとなる JGAP 指導員を募集いたします。** 役割としては、

- ・モデル農場と共に IPM 関連企業の技術・資材の選定
- ・モデル農場での IPM 関連企業を招いた現地検討会の開催

になります。IPM 技術・資材の最新情報の入手と実際の農場での IPM 導入指導経験を積む事ができ、より高度な JGAP 指導ができるようになります。

IPM 実践道場第 1 回会合において決定したモデル農場は下記の通りです。

1. 北海道千歳市 キャベツ他、露地栽培農場
2. 茨城県水戸市 パプリカ養液栽培農場
3. 茨城県小美玉市 葉菜類施設栽培農場
4. 山梨県北杜市 多品目 露地栽培農場
5. 新潟県新潟市 トマト養液栽培農場
6. 静岡県島田市 茶農場
7. 愛知県豊橋市 キャベツ露地栽培農場
8. 三重県松坂市 キャベツ他、露地栽培農場
9. 京都府丹波市 トマト他、露地栽培農場
10. 大分県宇佐市 ぶどう 露地・被覆栽培農場

また、現在ご参加いただいている IPM 関連企業の資材は下記となります。

1. 殺虫剤
2. 粘着シート
3. 菌体、ニーム
4. 天敵
5. 生物農薬、BT 剤
6. マルチ、物理殺虫剤

## 7. 防虫ネット

本 IPM 実践道場に関するお問い合わせは担当：横溝（電話 03-5215-1112、メール info@jgap.jp）までお願いします。

### ●参加要領

	農場	IPM 関連企業	JGAP 関係者
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JGAP 認証農場 (団体・個人は問わず)</li> <li>・ JGAP 取組開始農場 または検討中の生産者 もしくは生産団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IPM の取り組みに関連する資材を提供できる企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JGAP 指導員</li> <li>・ JGAP 審査員</li> </ul>
参加メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防除コストの低減方法について専門家の指導が受けられる</li> <li>・ JGAP でも求められる IPM の取り組みを深化させることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多数に向け成果発表が可能 農場、指導員、審査員協会メルマガ、HP 等により 5,000 名以上へ告知可能</li> <li>・ 農業誌との連動企画で年 2 回の記事広告を発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JGAP が求める IPM 導入を体感しその後の自身の指導等に活用可能</li> </ul>
参加費	無料 ※	5 万円（日本 GAP 協会会員は無料）	会合 1 回あたり 2 千円（日本 GAP 協会会員は共通割引券使用で無料）

※IPM 導入の実験区と対象区を設置できることが条件。収集したデータは参加者で共有します。

※IPM 関連の資材購入は原則として農場の自己負担（補助事業の活用、協会による補助、メーカーからの提供・協賛もあります）

※応募が多数の場合、日本 GAP 協会の農薬肥料資材部会で選定を行います。

※オブザーバーご希望の方は日本 GAP 協会までお問い合わせ下さい。

### ●IPM 実践道場 参加申込書 (FAX : 03-5215-1113)

氏名 指導員番号			
連絡先	電話		FAX
メールアドレス			
下記の点についてご記入ください これまでの IPM 技術・資材とのかかわり、IPM 導入指導経験			

募集締め切り 2014 年 5 月 17 日